

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	総務課		
目標1	標題	防災用備蓄倉庫等の整備		担当係	行政庶務係・危機管理係	
総合計画の 位置付け	施策大綱	災害に強い地域づくり		【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)		
	施策小項目	地域防災計画に基づいた体制づくり				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>①災害時の住民の保護と生活維持への迅速な対応を行うため、役場南側駐車場内へ防災用備蓄倉庫及び車両倉庫等を整備(実施設計及び工事)する。</p> <p>②地域防災計画に基づき、国土強靱化計画の策定及びハザードマップを作成する。</p> <p>③災害発生情報や防災に関する情報をより確実に伝えるため、防災通信システムの改修を行う。</p>		①実施した取り組み(活動実績等)	<p>③進捗度評価</p> <p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定	
		②下半期の取り組み予定・課題等	<p>B</p> <p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	⑧課題・特記事項等		
		<p>①段差をフラットにして一体的に利用できるよう基本設計を見直し、議会へ説明した。造成工事等の増工による社会資本整備交付金の計画変更について、県担当者と打合せを行った。事業費のみ変更することとし、第2回目で変更協議することになった。</p> <p>②国土強靱化計画及びハザードマップの策定の委託契約を締結し、打合せを行い調整を行った。ハザードマップは、土砂災害警戒区域等のデータを関係機関から収集し、委託業者に提出。</p> <p>③移動系防災無線の避難所での電波の受信状況や、災害時の使用方法から、課題を洗い出し、改善のための対応策について協議を行っている。</p>	<p>①1月に工事発注できるよう実施設計書作成と12月補正予算計上を行う。第三者による設計積算等のチェックについて、まちづくり政策課に確認し進める。工事にあたり職員駐車場スペースが制限されるため、駐車できる場所(第3駐車場)を確保する。</p> <p>②国土強靱化計画策定のため、各課局から意見や施策を取りまとめ、パブリックコメントを実施し、計画策定を進める。ハザードマップに付随する防災情報を取りまとめ、年度末に全戸配布できるように進める。</p> <p>③移動系防災無線の町内全域の電波状況を確認し、通信エリア拡張工事に着手する。</p>			

令和 2 年度 組織目標進捗状況

令和 2 年度 組織目標進捗状況			担当課	総務課		
目標2	標題	職員の人材育成及び適正な人事管理	担当係	行政庶務係		
総合計画の 位置付け	施策大綱					
	施策小項目					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)	次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>①計画的人事異動、人事評価制度の改善見直し、新入職員メンター制度、各職員研修等に取り組む。</p> <p>②計画的に職員採用を行うため、定員管理計画を策定する。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症や豪雨災害等により、人事異動や会計年度任用職員の任用を行った。人事評価見直しは来年度から運用できるよう、現行制度を改善することで着手している。メンターは定期面談を取り入れて支援にあたった。</p> <p>②職員採用計画を作成し、職員募集と採用試験を実施した。現時点で7名(行政職2、保健師1、保育士3、栄養士1)を内定。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>①育休復帰職員について適正な配置を行う。清流苑会計年度任用職員の適正運用(フル・パート)について整理する。人事評価見直しは改善案ができたなら、小委員会、推進委員会、職員組合と協議を進める。メンター制度は懇談会を踏まえ、個々にあった形で支援を継続する。</p> <p>②社会人採用(ICT、心理、ケアマネ及び12月採用行政職)を進める。技術職の社会人採用について検討する。</p>	<p>B</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>	

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)

B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)

C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	総務課		
目標3	標題	災害に備える体制強化	担当係	危機管理係	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)	
総合計画の位置付け	施策大綱	災害に強い地域づくり				
	施策小項目	消防団活動の推進				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①小型動力ポンプ搭載用積載車の更新し、車両更新計画の策定する。 ②消防力向上のため非常を想定した訓練の実施する。 ③消防資機材等の点検など団員による広報活動の実施する。		①実施した取り組み(活動実績等) ①小型動力ポンプ積載用車両(下垣外号車、古町号車の2台)の更新を行った。 ②新型コロナウイルス感染症防止のため、操法大会を中止とし、活動が制限せざるを得ない状況であったが、町団・分団の非常招集訓練を実施し、消防力の維持を図った。 ③消防団の活動を知ってもらうことを目的に、チャンネル・ユーを通じ、火災発生時の消火活動や、土のうによる水防活動の広報を実施。	③進捗度評価 ④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価 ⑦今後(次年度)の取り組み予定		
		②下半期の取り組み予定・課題等 ①車両の状況や、団員数を考慮し、車両更新計画の策定を進める。 ②消防力維持を目的に、町団非常招集訓練を12月に予定。 ③消防団の活動内容や災害発生時の役割を知ってもらうことを目的に、引き続き、広報活動を行うとともに、新入団の確保につなげる。	B ⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	総務課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)	
目標4	標題	災害に備える体制強化	担当係	危機管理係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	災害に強い地域づくり				
	施策小項目	自主防災組織の強化・連携				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①自主防災組織の活動強化に向け、 研修会を開催する。資機材等の整備 の支援。 ②広報誌による避難行動等の防災 情報を発信し、防災意識の高揚を図 る。		①実施した取り組み(活動実績等) ①自主防災リーダー研修会を、第1回は中止とし、 第2回は7月に開催。自主防災施設整備事業によ り、各自自主防災組織の防災資機材の整備の支援を 行った。 ②広報まつかわで避難行動等の防災情報を毎月 発信。	③進捗度 評価 B	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度 評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
		②下半期の取り組み予定・課題等 ①自主防災施設整備事業の来年度要望を取りまと め、予算化を行う。第3回自主防災リーダー研修会 を開催する。 ②コロナ禍により出前講座が難しいことから、広報 まつかわへの継続的な防災情報の発信により、町 民全体の防災意識の向上を図る。	⑤取 り 組 み に よ る 効 果 ・ 実 施 で き な か っ た 理 由 等	⑧課題・特記事項等		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

				担当課	総務課		
目標5	標題	新型コロナウイルス感染症対策		担当係	危機管理係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	災害に強い地域づくり					
	施策小項目						
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
新型コロナウイルス等対策行動計画に基づく対策本部会議の運営と各種対策の実施。		① 実施した取り組み(活動実績等)	松川町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく対策本部会議を開催し、町の新型コロナウイルス感染症に対する基本方針を決め、周知を行った。庁内では、勤務体制(時差勤務、週休勤務、分散勤務)による3密の解消、庁舎内の感染防止対策(アルコール消毒・パーテーションの設置、換気)を実施。新型コロナウイルス感染症対策支援一覧(個人・企業・各種公共料金猶予)を取りまとめ、町民に周知を行った。	③ 進捗度評価	④ 実施した取り組み(活動実績等)	⑥ 達成度評価	⑦ 今後(次年度)の取り組み予定
			② 下半期の取り組み予定・課題等	新型コロナウイルス感染症対策を継続的に実施していく必要がある。災害に備え、新型コロナウイルス感染症対策を考えた避難所の設営について検討していく必要がある。			

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)

B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)

C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	総務課			
目標6	標題	公金の適正な出納事務の実施		担当係	会計室		
総合計画の 位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進					
	施策小項目	財政健全化の推進					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
財務規則に基づき適正な公金の出納事務を実施する ①歳入歳出伝票類が財務規則及びその他の関連法規に適合しているか審査を行い、担当者に適切なアドバイスを行うなど会計事務の適正化を図る。 ②職員の会計事務に対する認識を深めることで会計事務の統一が図れるよう、研修やマニュアルの改訂を行う。		①実施した取り組み(活動実績等)	①順調に行っている。 ②4月18日に新規採用職員向けの研修を行った。マニュアルの改訂については現在修正すべき箇所を確認を行っている。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
		②下半期の取り組み予定・課題等	②マニュアルの改訂について、11月中に修正箇所の確認を終え、2月までに修正を行う。なお、入札関連の記述については財政係を協議を行う。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	まちづくり政策課
担当係	まちづくり推進係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標1	標題	持続可能な自治組織づくりの推進		担当課	まちづくり政策課	
総合計画の位置付け	施策大綱	持続可能な自治組織づくり		担当係	まちづくり推進係	
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①区会・自治会と地域づくり懇談会を開催し、自治組織の役割や行政との関係性について整理する。 ②中山間地域の自立分散型社会づくりに向けて、森林資源を暮らしの中に取り入れていくための実践型ワークショップを開催する。	①実施した取り組み(活動実績等) ②下半期の取り組み予定・課題等	①地域づくり懇談会の趣旨について各地区で説明を行った。あわせて、先進的な取り組み事例の研究(雲南市)を、オンライン上で実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に遅れが出ている。 ②高校生を対象に、9月末までに3回実践型ワークショップを開催した。	③ 進捗度 評価	④ 実施した取り組み(活動実績等)	⑥ 達成度 評価	⑦ 今後(次年度)の取り組み予定
		①10月中にモデル地区を決定し、懇談会を開催する。 ②アイデアを形にするとところまで、引き続きワークショップを開催する。	C	⑤ 取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧ 課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課 まちづくり政策課

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標2	標題	情報システムの最適化	担当係	まちづくり推進係
総合計画の位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進		
	施策小項目	情報システムの最適化		

具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①基幹システムの調達に向けてRFIを実施し、仕様書を決定する。	①実施した取り組み(活動実績等)	①基幹システムのRFIを8月～9月にかけて実施した。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定	
	②下半期の取り組み予定・課題等	①RFI結果をもとに、12月末までに仕様書を決定する。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	まちづくり政策課
担当係	まちづくり推進係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標3	標題	若者と地域をつなぐ仕組みづくり		担当係	まちづくり推進係	
総合計画の位置付け	施策大綱	移住定住の促進				
	施策小項目	若者と地域をつなぐ仕組みづくり				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①高校生を対象とした地域フィールドワークを実施する。 ②大学生のインターンシップの受入れ体制を整備する。	①実施した取り組み(活動実績等)	①未実施。 ②コロナ禍による影響を踏まえ、来年度実施予定のインターンシップを半年前倒して行うことのできるよう、長野県立大学との調整を行った。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①松川高等学校と連携し、選択科目の授業を活用したフィールドワークを11月に実施予定。 ②10月～3月までの半年間、長野県立大学のプロジェクト参加型インターンシップを実施予定。	A	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	まちづくり政策課
担当係	公共交通係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標4	標題	地域公共交通システムの運営と改善
総合計画の位置付け	施策大綱	暮らしを支える交通環境づくり
	施策小項目	交通弱者対策

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①生活に必要な移動手段のコミュニティバスの安全な運営をする。 ②運行の見直しを行った大島循環・上片桐循環・生田循環(大島・上片桐地区へフリー降車区間を新設)について、評価・検証を行うと共に他の路線も含め新たな改善策を検討する。 ③利便性と効率を図るデマンド乗合タクシーの実証運行の評価・検証を行い、本格運行への移行について検討する。	①実施した取り組み(活動実績等)	③進捗度評価 ①事故等無くコミュニティバスの安全な運行管理を行った。町地域公共交通対策協議会を2回(①6/2、②8/27(書面決議))開催した。 ②運行の見直しを行った大島循環、上片桐循環、生田循環について、乗降者数の実績及び乗込み調査を行い、評価・検証を行うと共に、他の路線への乗込み調査を行った。運行事業者と運行改善についての検討会議を行った。 ③デマンドタクシーの運行について、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、実証運行を令和3年3月31日まで延長することとなった。利用者からの意見を反映した内容で、8月1日から運行改善を実施した。運行改善後の評価・検証を行うため、10月上旬にデマンドタクシー利用登録者に対するアンケート調査を行う準備を行った。	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	B ①引き続き、事故無く安全なコミュニティバスの運行管理を継続すると共に、町地域公共交通対策協議会を2回(③1月④3月)開催する。 ②運行の見直しを行った大島循環・上片桐循環・生田循環の評価・検証を行うと共に、他の路線も含め新たな改善策について、1月に開催予定の町地域公共交通対策協議会で提案し、次年度へ向けた検討を行う。回数券の車内販売実施の検討を行う。 ③令和3年3月31日まで実証運行を実施する中で、乗降者数の実績及びデマンドタクシー利用登録者に対するアンケート調査により評価・検証を行い、本格運行へ向けた検討を行う。デマンドタクシー利用登録者に対し、予約方法の案内配布を行う。	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	まちづくり政策課
担当係	公共交通係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標5	標題	リニア中央新幹線整備への対応とまちづくり
総合計画の位置付け	施策大綱	関係人口の構築
	施策小項目	リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据えた環境整備

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
②リニア中央新幹線開通後の町の将来について語る会(仮称)を立ち上げ、町内の若者がまちづくりに関わる機会を創出する。	①実施した取り組み(活動実績等)	②まちづくり推進係が実施する学生等が参加するインターンシッププログラムの中で、リニア開通後の町の将来についても触れ、松川町の10年後20年後の未来を描く「未来シナリオ」を構想していく段階から関わっていくこととなった。 ※ 当初、町内居住の若者で「リニア中央新幹線開通後の町の将来について語る会(仮称)」を計画したが、首都圏の若者も交えることがベターと考え、事業を先送りした。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	②インターンシッププログラムへ11月末頃から関わり、未来シナリオを構想する段階で、リニア開通後の町の将来について触れることで、リニアへの関心度の向上を図る。また、リニアで結ばれる首都圏等の若者とのつながりを構築する。首都圏の若者が考える将来の町の姿と町との関わり方を整理し、既存の「リニア中央新幹線開通後の町の将来について語る会(仮称)」の企画内容の見直しを行い、次年度につなげる。	C	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	まちづくり政策課
担当係	企画財政係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標6	標題	公共施設個別施設計画の策定		担当係	企画財政係		
総合計画の位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進					
	施策小項目	財政健全化の推進					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
年度末までに、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、町が所有し、計画が未策定である公共施設(建物)について、個別施設計画を策定する。 施設の劣化状況調査など業務支援のため一部の業務をコンサルへ委託し、期限(年度末)までの策定を目指す。		① 実施した取り組み(活動実績等) ② 下半期の取り組み予定・課題等	榊大輝へ支援業務を委託済。 施設の現状を把握するための資料収集及び実態調査(劣化調査)が完了。	③ 進捗度評価	④ 実施した取り組み(活動実績等) ⑤ 取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑥ 達成度評価	⑦ 今後(次年度)の取り組み予定 ⑧ 課題・特記事項等
			計画の骨子について、12月議会にて説明する。 各施設の施設整備方針を1月末を目途に整理し、長寿命化の為に修繕費用を新年度予算と整合性を図りながら整理した後、3月末までに計画を完成させる(完成後公表)。	B			

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	まちづくり政策課
担当係	企画財政係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標7	標題	入札・契約制度の見直し						
総合計画の位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進						
	施策小項目	財政健全化の推進						
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)			次年度に向けた取り組み(引継事項)	
現在未実施である一般競争入札の運用を令和3年1月から開始するため、必要となる要綱等の整備を行う。指名競争入札などの現行で運用している制度について、未整備の要綱等の整備を行う。	①実施した取り組み(活動実績等)	(事後審査型)条件付き一般競争入札の実施要領の原案まで作成、議会(9月)へ説明した。談合情報対応事務取扱要領、入札参加停止要綱、工事費内訳書取扱要領を制定(10/1より施行)建設工事の入札(指名)基準に係る関係課(建設課)への聞き取りを実施した。 ※新型コロナウイルス感染症への対応業務の発生により、当初の予定であった本年9月からの制度運用開始には間に合わず、令和3年1月運用開始とする。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定		
	②下半期の取り組み予定・課題等	10月中旬に条件付き一般競争入札の制度案について、関係団体(建設業協会、管工事組合など)へ説明し、意見を求める。 10月中旬に建設工事の入札(指名)基準に係る関係課(環境水道課)への聞き取りを実施する。 11月にパブリックコメントを実施し、12月議会にて最終意見を求め、制度を完成させる。 12月に町内事業者向け説明会を開催するとともに、職員への説明会を開催する。 随時長野県(飯田建設事務所)へアドバイスを求めながら進めていく。	C	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課 住民税務課

目標1	標題	町税の適正な課税と賦課環境の整備	担当係	課税係
総合計画の 位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進		
	施策小項目	利便性の高い行政手続きの推進		

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取
 り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実
 施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実
 施できていない)

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①令和3年度の固定資産評価替えに 向けて、宅地評価基準の見直しを進 めるとともに土地評価の事務取扱要 領を完成させる。 ②eLTAXデータのオンライン取込に ついて、基幹系システムの更新に合 わせて導入を検討するとともに、 eLTAX等の送受信システムにより、 効率的な課税、徴収を行う。 ③効果的なチェック方法、体制を常に 意識し、正確な課税を実現させる。 ④税に関する情報を発信し、納税者 に税金についての理解を深めてもら う。 ⑤租税教育推進協議会のもち方につ いて検討し、効果的かつ効率的な租 税教育を行う。	①実施した取り組み(活動実績等)	③進捗度 評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度 評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかつた理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	住民税務課		
目標2	標題	町税の収納率の向上	担当係	徴収係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進				
	施策小項目	利便性の高い行政手続きの推進				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>①コンビニ収納の利用率の確保 コンビニ収納について利便性や利用実績を広報等で周知し、普通徴収(自主納付)の納税の延べ回数について利用率20%の確保を図る。</p> <p>②困難滞納事案の整理 長期且つ膠着化した困難案件の解消を図るため、財産調査により滞納処分を執行し、資力・財産ともに僅少な滞納案件については執行停止や不納欠損の判定を行う。</p> <p>③徴収事務研修会等への参加。 県や滞納整理機構が主催する徴収研修会等に計画的に職員を派遣し、滞納債権管理の手法やノウハウを補完する。</p> <p>④国民健康保険税の適正な賦課・徴収 国民健康保険運営協議会に適正な資料提供を行い税率の決定に寄与するとともに、正確に電算処理を行う事で公平な賦課・徴収に繋げる。税額収方法の問い合わせに対しては懇切丁寧な説明を行い理解を求める。</p> <p>⑤全庁的な収納対策会議の開催。 庁舎内の税・料等の収納担当による収納対策会議を開催し、共通の滞納事案の情報交換・共有を図ることで連携した訪問集金や滞納処分に繋げる。(年1回)</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>①4月から9月までの普通徴収4税(町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)の延利用回数 32,898回に占めるコンビニ収納の延納付回数は、4,166回であり、コンビニ収納回数の占める割合は13%となった。</p> <p>②長期・困難事案については、納税義務者と面談の折に担税力について聞き取り調査を行い執行停止が見込まれる事案については、財産や債務関係の調査を行っている。また、納税承継事案の不動産公売執行しようとしたが、買受人の入札が無かったため売却まで至っていない。</p> <p>③県主催の研修会に職員を派遣している。</p> <p>④国民健康保険運営協議会において歳入予算に使用する収納率(見込)について一部の委員に最後まで理解を得る事ができなかった。課税決定通知後の住民からの問い合わせについては、資料等を作成し対応している。</p> <p>⑤収納対策会議については、11月に開催を予定している。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>①上半期の普通徴収の延利用回数については口座振替の件数が全体の73%と一番多い、役場や金融機関の窓口での収納件数が全体の14%、コンビニ店舗での収納件数は全体の13%でした。口座振替については町として以前から推進している事から、役場や金融機関窓口を利用している納税者にコンビニ収納の利便性を今一度周知するため広報やホームページへ掲載していく。</p> <p>②引き続き差押えを前提として滞納者の財産や負債等を調査し取立てが可能な事案については、滞納処分を執行し、生活や財産の所有状況から担税力の無い滞納者については執行停止の判定をしていく。</p> <p>③市町村職員研修センターや滞納整理機構が主催する研修会については、毎回参加していく。</p> <p>④今後も補足資料を作成するなどして個別に説明していく。</p> <p>⑤ 収納対策会議については11月開催予定であり、新規の滞納事案や困難事案について情報の交換を図る。</p>	<p>B</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>	

【評価基準】
A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	住民税務課			
目標3	標題	住民窓口サービスの向上	担当係	住民係			
総合計画の 位置付け	施策大綱	時代にあった行財政運営と行政サービスの推進					
	施策小項目	利便性の高い行政手続きの推進					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>○窓口利用者の待ち時間の短縮と接遇の向上。</p> <p>①総合窓口として、来庁者のニーズに沿った的確な説明・案内を実施する。</p> <p>②松川町職員接遇向上マニュアルを利用し、接遇能力の向上を図る。</p> <p>③マイナンバーカード取得の普及促進を図るため、土曜日窓口においてカード申請受付を開始する。また、制度及びカードの利活用情報提供と啓発に努め、証明書のコンビニ交付等のカード利用に繋げる。</p> <p>○特別定額給付金の給付</p> <p>①特別定額給付金を間違いの無いよう、迅速に給付を行う。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>○窓口利用者の待ち時間の短縮と接遇の向上。</p> <p>①正面玄関から庁舎内へ入るお客様や、立ち止まっているお客様に声をかけ、目的の担当課への案内を積極的に行っている。住民異動に伴う各種手続きについて、漏れなくスムーズに行えるよう受付票を使って確認するなどの工夫をしている。</p> <p>②マニュアルの読み合わせにより、基本に立ち返って接遇対応を行うよう確認した。</p> <p>③土曜窓口においてカード交付申請受付を開始した。カードの利活用情報について、土曜窓口のお知らせの有線放送や、カード交付時や証明書交付時などの機会を捉えて、パンフレットやポケットティッシュを配布し啓発に努めた。</p> <p>○特別定額給付金の給付</p> <p>①給付金に係る事務処理について正確かつ迅速に行うよう努め、8月末には交付率99.9%で給付を終了した。</p>	③ 進捗度 評価	④ 実施した 取り組み (活動 実績等)	⑥ 達成度 評価	⑦ 今後(次 年度)の 取り組 み予定
			<p>①②引き続き、窓口利用者の待ち時間の短縮と接遇向上に努める。</p> <p>③カードの普及促進については、土曜窓口において臨時申請受付を引き続き行うとともに、ホームページやチャンネル・ユーの放映などを使って行っていききたい。カードの交付数が急速に増加してきている状況があり、申請から交付手続き等や一連の事務処理に要する時間に対して、対応する職員の人員不足により、業務に支障をきたす恐れがあると感じる。</p>	B			

【評価基準】
A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	保健福祉課
担当係	保健予防係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標1	標題	高血圧症患者割合の減少
総合計画の位置付け	施策大綱	1 健康な暮らしづくり
	施策小項目	3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
脳や心臓の血管を傷め、脳血管疾患病や心筋梗塞等の心臓の病気の引き金となる高血圧患者について、以下の取り組みにより高血圧疾患に係る医療費を国保全体の12%(R1:11.5%)に抑制する。 ①健診結果による高血圧者に対し血圧手帳を配布して家庭血圧を促すとともに、保健師による定期的な確認指導を行う。 ②把握している重症高血圧者のうち健診未受診者に対して受診勧奨を行う。 ③重症高血圧者に対する減塩アンケートに基づいた管理栄養士による食事指導を行うとともに、必要に応じて蓄尿検査を行い食事指導のデータとして活用する。	①実施した取り組み(活動実績等)	国保の医療費分析の速報値で、高血圧に係る医療費は12.4%に上昇した。 特定健診結果説明会にて以下の取り組みを実施。 ①37人に家庭血圧手帳を配布し、測定後訪問等により高血圧の改善ができたか確認した。 ②過去に健診を受け血圧が高かった人で特定健診未受診者31人に受診勧奨を実施した。 ③高血圧者に対し、蓄尿検査を7人に実施、減塩アンケートは出前講座等の場を活用し68人に実施した。 ※高血圧のメカニズムでは、長年の生活習慣や年齢による動脈硬化により引き起るとされている。即医療費に反映されないことから長期的な支援が必要となる。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	B 引き続き高血圧者に対し、家庭血圧手帳の配布、減塩アンケート及び蓄尿検査を実施し、生活習慣の改善に努めるよう促す。また、メタボリックシンドロームが原因で起る高血圧者に対しては、減量ができるように保健師、栄養士が連携して支援していく。	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	保健福祉課		【評価基準】	
目標2	標題	第8期介護保険事業計画・地域ケア計画策定	担当係	高齢者係・地域包括支援センター係		A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)	
総合計画の位置付け	施策大綱	3 支えあい、認め合うまちづくりと共生社会の実現					
	施策小項目	5 共に支え合う地域共生の社会づくり					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
第8期介護保険事業計画・地域包括ケア計画(令和3年度～令和5年度)の策定を行う。 ①介護保険の健全運営と、障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で暮らしていけるための「我が事、丸ごとの地域共生社会」の実現のための仕組みを検討する。 ②第8期における適切な介護保険料を算定する。 ③県より計画の方向性が示された後、10月以降に随時策定懇話会を開催、2月中のパブリックコメント、3月議会全員協議会を経て年度内に定める。		①実施した取り組み(活動実績等) ①7月に地域福祉連絡協議会、元気センター(仮称)検討委員会、議会より意見聴取を行った。9月24日には地域福祉連絡協議会を開催し、7月の意見聴取の結果を確認するとともに、元気センター(仮称)の機能を集約型か分散型のどちらにするかの検討を引き続き進めることとした。 ②③10/7県のヒアリング受検。町の基本理念を立て、暫定の保険料を算出した。	③進捗度評価 ④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価 ⑦今後(次年度)の取り組み予定			
		②下半期の取り組み予定・課題等 ①11月に、機能について各事業所より案を持ち寄り、再度検討する場を設ける。その後の取り組みについては、会議の進捗により判断するが、概ね年度内には町としての方向性を決定したい。 ②県より「計画策定に関する基本指針(案)」が示されたことから、計画の骨子を作成し11月開催の懇話会へ諮る。 ③懇話会の結果を含め、12月社会文教常任委員会、全協で協議し、2月パブリックコメントを経て、3月議会にて保険料改定に係る介護保険条例の改正を行う予定。	B ⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等			

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課 産業観光課

目標1	標題	地域の特色を活かした魅力ある農業づくり	担当係	農林係
総合計画の 位置付け	施策大綱	地域の特色を活かした農業づくり(農地/鳥獣害防止)		
	施策小項目	魅力ある松川町農業の振興/鳥獣被害防止対策の推進		

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①農業委員会による農地等の利用最適化に関する指針の見直しを実施し、農地中間管理機構(県農業公社)と連携し、農地のあっせん(売買、貸借)を推進する。農業委員が中心となり、各地域の実質化された人農地プランの策定を実施する。 ②環境保全型農業による学校給食用の食材の栽培を推進するため、各種研修会等を実施。遊休農地対策、地産地消につなげる。 ③有害鳥獣による農作物被害を最小限に食い止めるため、有害鳥獣駆除対策協議会において、総合的な対策(追い払い、防護、捕獲、防護柵、学習会等)を検討し、有害鳥獣駆除対策班と猟友会とともに連携し総合的な対策や捕獲駆除につなげる。	①実施した取り組み(活動実績等) ②下半期の取り組み予定・課題等	①農地等の利用最適化に関する指針の見直しを実施。8月に策定、公表済。農地の斡旋会議には、農業委員が出席し、仲介を行っている。部奈の実質化された人農地プラン(案)がまとまった。 ②実証圃場での農作物の栽培を行い、学校給食にも7月末から順に食材の提供ができた。講演会も計画通り、進めている。 ③有害鳥獣駆除対策協議会で計画された事業を進め、防護柵の維持管理も滞りなく進んでいる。急傾斜地の緩衝帯整備、豪雨災害による破損の修理等。	③進捗度評価 ④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価 ⑦今後(次年度)の取り組み予定 ⑧課題・特記事項等	
		①部奈の人農地プランの認定をするため、町の協議会に提出し、認定を受け県へ報告していく。 ②次年度へ向けての参加者を募集。今年度、学んだ内容を冊子にして、参加者及び希望者に配布できるように進めている。 ③次年度に向けて、協議会を開催し、地域協議会からの要望等を聞き、予算要望につなげる。	B ⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	産業観光課
担当係	農業振興係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標2	標題	活力ある産業が息づくまちづくり
総合計画の位置付け	施策大綱	持続可能な農業の推進
	施策小項目	農業の担い手育成と後継就農並びに新規就農者の受け入れ支援／農業法人の設立を目指す農家の支援

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①地域おこし協力隊制度を活用した、果樹農業研修生の育成に力を入れ、地域に定着し営農できる環境づくりを関係者、団体と協力して行う。 ②新規就農希望者の生活の基盤である住宅の確保に向け、地域からの情報収集を強化し新規就農希望者へつなぐ。 ③遊休農地の拡大、優良農地の減少を食い止めるため、農地中間管理機構を活用した農地の売買、貸借が行われるよう、情報収集や担い手の掘り起こしに努める。	①実施した取り組み(活動実績等)	①果樹研修生2名の地域定着に向け、若武者などの団体での活動や認定農業者等の研修会などへ参加を促すとともに、月次面談等を通じて生活面での相談など継続的に行っている。 ②地域農業委員や農業者より情報収集に努め、現在少しずつではあるが、情報の共有ができてきている。 ③農地の借り手希望者より、貸し手希望者が多い中で、農家からの情報収集や情報共有によりマッチングに向けて、取り組んでいる。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①住居の確保に向けて動き出しているため、仲介業者とも連絡を取り引き続き支援を行う。 ②まちづくり政策課や建設課とも連携し情報収集に努めたい。 ③退職帰農者の情報なども収集し、担い手の掘り起こしに努める。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	産業観光課		
目標3	標題	森林の恩恵を次世代へつなぐ里山づくり		担当係	農林係	
総合計画の 位置付け	施策大綱	森林の恩恵を次世代へつなぐ里山づくり				
	施策小項目	森林の整備と林業の振興／林道・治山の整備				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>①森林組合との協議の上、森林経営計画の見直しを行い、森林造成・町有林保育・分収造林保育等を実施。また、松くい虫被害防止のため、伐倒駆除及び更新伐事業を活用した樹種転換を実施し、森林整備を進める。従来計画に加え、森林経営管理制度による森林の管理を行うため、町の計画書を策定し、アンケートの実施を行う。</p> <p>②里山の整備として、およりの森・池の平を一帯に考え、「100年の森構想」の提案者である専門家と相談の上、整備事業を進める。</p> <p>③地域による里山整備を実施するため、各種支援を行う。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>①森林経営計画に則り、森林造成・保育・分収造林事業を実施。前期分は終了。松くいの伐倒駆除及び更新伐を実施。森林経営管理制度の計画及び事業を実施するためのアンケートを7月に実施する予定でしたが、災害対応に追われ、計画が遅れている。</p> <p>②月1回の整備作業を実施。明るく、自然の草花を楽しめる森となり、散策してくれる人も増えた。コロナ禍の中で、清流苑の職員にも作業を行っていたが、手が入られなかった場所に手が入り、周遊できる森となった。</p> <p>③竹林の整備事業として、地域の協議会が立ち上がり、申請していただいた。4つの申請があり、交付決定がされ、事業を進めていただいている。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>①後期分の事業を進める。遅れている森林経営管理制度の計画を進め、12月にはアンケートを発送し、森林経営計画への取り組みを進めるよう、広報及び提案を行っていく。</p> <p>②10月の植樹祭の実施、また、アドバイザーの先生による自然観察会を実施し、多くの皆さんに森に携わっていただくようにする。</p> <p>③地域の協議会が行う活動への支援を行い、次年度に必要なチップパーが購入できるよう予算要望をしておく。</p>	<p>B</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>	

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	産業観光課
担当係	商工観光係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標4	標題	持続可能な地域を目指した地元産業の発展(商工業)
総合計画の位置付け	施策大綱	魅力的な商工業の振興
	施策小項目	商工業振興策の支援

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①商工会が行う振興施策(小規模企業指導事業等)を支援する。 ②松川町振興資金の活用について、地域の実情を把握しながら、最適な制度資金となるように幹旋審議会で協議を重ね充実を図る。 ③工場等設置事業補助金制度及び各種制度資金等により、長期の安定操業を支援する。 ④企業立地支援窓口として充実を図る(地域未来投資促進法、工場立地法) ⑤創業支援計画の申請・認定により、起業を目指す方を商工会、金融機関、商店関係者、農業関係者と連携し、支援を行う。創業支援補助の実施する。 ⑥新型コロナ感染症経済対策を状況を確認し必要に応じて実施する。	①実施した取り組み(活動実績等)	①商工会と連携し、新型コロナウイルス感染症経済対策について検討。7事業を実施。 ②新型コロナウイルス感染症対策特別枠にて制度資金を2件増設。 ③随時実施。 ④随時実施。 ⑤現在の申請件数0件。 ⑥まつかわのお店応援券・小規模事業者応援給付金・飲食サービス業等新型コロナ危機突破推進支援金・まつかわお店応援プレミアム商品券・小規模事業者家賃支援について実施。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①商工会のアンケート、町長企業訪問等の状況から支援策のこれまでの検証とこれからの検討を進める。 ②随時実施する。 ③随時実施する。 ④随時実施する。 ⑤随時実施する。 ⑥現状を把握しながら、必要な事業について検討を行う。既存事業については随時、受付等を進める。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	産業観光課
担当係	商工観光係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標5	標題	持続可能な地域を目指した地元産業の発展(企業支援)
総合計画の位置付け	施策大綱	魅力的な商工業の振興
	施策小項目	企業誘致と既存企業との連携

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①町内既存企業へ定期訪問と町外にある本社訪問を行うことにより情報交換を行い、関係の構築に努める。 ②松川インター企業団地への誘致について地元協議会と連携し進める。 ③無料職業紹介所の運営、町内企業と連携した就職ガイダンス、高校生を対象としたの就職説明会を松川高校と連携し実施する。 ④キャリア教育について教育委員会と地元企業と連携し、地域産業について知る機会を創出し、Uターン就職の仕組みを構築する。	①実施した取り組み(活動実績等)	①毎月定期的実施し、経営状況、新型コロナウイルス感染症関連の情報収集を行っている。 ②未実施。 ③無料職業紹介所については、要望に応じて実施中。就職ガイダンスについてはコロナ禍の影響により未実施。 ④松川高校で行っている、飯田市のつなぐ事業と連携することし、町内事業所へ周知した。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①今後も同様に進める。 ②現地の状況も含め今後について検討する必要がある。 ③無料職業紹介所については同様に進める、就職ガイダンスについては、今年度開催は中止の方向で進める。松川高校でのガイダンスについては、高校側の方針も含め開催を検討する。 ④当面は、つなぐ事業と連携を進める。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	産業観光課
担当係	商工観光係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標6	標題	持続可能な地域を目指した地元産業の発展(商店街)
総合計画の位置付け	施策大綱	魅力的な商工業の振興
	施策小項目	商店街の活性化支援

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①地域通貨として定着しているマー君カードの機器更新およびマイナポイントとの連携について町、商工会、マー君カード事業協同組合と研究する。 ②「まつかわ・すたいる」まちづくり研究会の事業支援により、市街地の再活性化および空き店舗対策の検討を進め商店街への賑わい創出を行う。	①実施した取り組み(活動実績等)	①マークンの地域カード連携について組合と検討を進めているが、組合の方向性も定まらない状況にあり、停滞している。 ②毎月1回「あらいについて考える会議」を実施、下半期に向けての事業実施について計画中。GoToキャンペーンに伴い商店街を利用したイベント開催についても計画を進める。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①近隣の状況も変化してきており、マークンの方針についても早急に検討する必要がある。 ②事業実施について進める。新井地区を中心としたまちづくりについての体制構築について検討する。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	産業観光課
担当係	商工観光係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標7	標題	持続可能な地域を目指した地元産業の発展(観光)
総合計画の位置付け	施策大綱	関係人口の構築
	施策小項目	南信州まつかわ観光まちづくりセンターによる地方創生戦略の推進

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンター[3年目]委託するインバウンドの受入、地域ブランドの構築、滞在交流プログラム、ワンストップ観光案内の充実及び青年の家後利用(ツリドーム含む)について連携して進める。 ②松川りんごワイン・シードル振興会、ふるさと山の会と連携し観光PRおよび観光施設整備を行い、関係人口の増を図る。 ③地域案内人「おいなんよ松川」の活動について、新規会員の募集等も行い、講座・案内、ホームページ運営等を定期的実施する。 ④国補助事業を活用し、観光施設の整備を進める。	①実施した取り組み(活動実績等)	①ウイズ、アフターコロナも視野にインバウンド受入(リトリートプログラムの検討)、滞在交流プログラムの造成を進めている。ツリドームは休業とし、10月から営業をモニター試泊として再開した。旧松川青年の家あと利用について、パブリックコメントの実施、エリア整備検討委員会の開催について検討した。 ②振興会とは、今後のりんごワインやシードルを町としてどう振興していくべきか、会議を開催した。山の会とは、小八郎山頂の東屋の改修を協力して実施した。 ③コロナ禍での対応として、新たな案内ツールとして紙芝居を作成し、小学生を対象にデモを実施した。 ④未実施	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①プログラム造成については、随時進める。ツリドームについては、冬の宿泊について検討する。旧松川青年の家エリア整備検討会については、随時開催し方向について年度内に決定する。 ②振興会についてはポスターの更新等、町が振興する部分を明確にし、進める。山の会は整備や登山ポストの改修など随時進める。 ③定例会等随時進める。 ④進めるかどうか検討する。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	産業観光課
担当係	清流苑/リフレッシュタウンまつかわの里

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標8	標題	持続可能な清流苑経営形態の確立
総合計画の位置付け	施策大綱	関係人口の構築
	施策小項目	信州まつかわ温泉清流苑の運営

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①新型コロナウイルスの蔓延に対し、地域住民や職員の安全を第一と考え、徹底した感染拡大防止に努め、次年度につながる経営を目指す。 ②「清流苑の今後のあり方」について、今後の方向性を定める。	①実施した取り組み(活動実績等)	①ウイズコロナとして、近畿大学宮澤教授との連携をもとに、ガイドラインの作成を完了し、ガイドラインに沿った営業に努めている。また予防対策としての動画を作成し、ホームページ等を活用し周知を行っている。営業としては、国検討の政策であるGoToキャンペーン等を最大限に活用し、集客に向けて事業を実施している。 ②あり方検討については、9月議会までに方向性についてお示しを完了し、具体的な事務作業へと移行している。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①新型コロナウイルス感染症拡大防止策を引き続き徹底していきながら、国等の観光誘発事業を最大限に活用し、集客に努める。 ②事務担当者会議、ワーキング(専門)会議、経営会議(拡大)による具体的作業に着手し、具体的なスケジュール、事務作業を実施し、議会への報告を含め、移行にむけた方針を示し、進めていきたい。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課		
目標1	標題	町道整備事業の推進	担当係	土木係・建設管理係	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)	
総合計画の位置付け	施策大綱	暮らしを支える交通環境づくり				
	施策小項目	幹線道路・生活道路の整備				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>・町道大草線(名子交差点)道路改良事業の詳細設計を実施し、用地交渉を適正に行い事業推進を図る。</p> <p>・町道大草線(下垣外工区)道路改良事業の地元調整を開始する。</p> <p>・町単独事業の道路改良・局部改良・道路舗装・防災工事により、地元の要望を反映した生活道路の整備を行う。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>・町道大草線(名子交差点)道路改良事業は、詳細測量設計の委託を発注した。詳細測量は完了し、現在は詳細設計を実施中である。用地交渉は建設管理係で順調に進めた。</p> <p>・町道大草線(下垣外工区)道路改良事業は未着手である。</p> <p>・町単独事業の道路改良・局部改良工事は大幅に遅れている。</p> <p>・町道大草線(名子信号機)道路改良事業の物件補償交渉は契約・支払まで終了。用地交渉は、予備測量により道路部幅を交渉し、了承を得ている。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>・町道大草線(名子交差点)道路改良事業は、長野県公安委員会・飯田建設事務所と交差点協議を実施し詳細設計を完了させ、来年度工事着手ができるように進める必要がある。</p> <p>・町道大草線(下垣外工区)道路改良事業は平成30年度に実施した概略設計成果を基に、地元説明会を開催できれば望ましい。</p> <p>・町単独事業の道路改良・局部改良工事の遅れをできるだけ取り戻したい。</p> <p>・町道大草線(名子信号機)道路改良事業の用地契約を進めます。</p>	<p>C</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課		
目標2	標題	町道修繕事業の推進	担当係	土木係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	暮らしを支える交通環境づくり				
	施策小項目	橋梁の長寿命化				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)	次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>・橋梁の長寿命化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕事業を実施する。</p> <p>・町内一円の道路橋について、道路法に基づく定期点検(第2期目、2年目)を実施する。</p> <p>・舗装長寿命化修繕計画に基づき、町道幹道二期線の舗装修繕工事を実施する。</p> <p>・町単独事業により、道路補修・側溝整備・舗装補修・安全施設・地元施工工事により、地元の要望を反映した道路維持・修繕工事を実施する。</p>		<p>① 実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>・松川町橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕事業について、今年度計画している修繕設計2橋は、詳細調査が完了した。修繕工事2橋の内、1橋は工事が完了した。残りの1橋は積算が完了した。</p> <p>・町内一円の道路橋梁点検は、今年度実施予定の30橋について、委託発注を行い現在点検中である。</p> <p>・松川町舗装長寿命化修繕計画に基づく舗装修繕工事について、今年度、修繕計画している町道幹道二期線について、設計・積算が完了した。</p> <p>・災害対応のため、町単独事業による道路補修・側溝整備・舗装補修・地元施工工事は予定より大幅に遅れている。</p> <p>・6、7月の梅雨前線豪雨により、22箇所の道路災害復旧工事と10箇所の維持工事が追加となった。</p>	<p>③ 進捗度評価</p>	<p>④ 実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥ 達成度評価</p>	<p>⑦ 今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>② 下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>・橋梁修繕事業について、今年度計画している修繕設計2橋は設計を完了させたい。修繕工事の1橋は工事を完了させたい。</p> <p>・町内一円の道路橋梁点検は、現在委託発注している30橋について、点検を完了させたい。</p> <p>・舗装修繕工事は、町道幹道二期線について、工事を発注し、年度内に完了させたい。</p> <p>・町単独事業による、道路補修・側溝整備・舗装補修・地元施工工事の遅れをできるだけ取り戻したい。</p> <p>・6、7月の梅雨前線豪雨により追加となった32箇所の工事を完了させなくてはならない。</p>	<p>C</p>	<p>⑤ 取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧ 課題・特記事項等</p>	

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課		
目標3	標題	景観行政団体への移行	担当係	建設管理係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進			【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)	
	施策小項目	景観の保全				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>・町独自の景観計画を策定(3年目)し、地域の美しい景観の保全を促す。また計画策定後、県との協議を実施し景観行政団体へ移行する。</p> <p>・屋外広告物パトロールを実施し、町の景観を阻害する違反広告物の撤去と屋外広告物の適正化の普及に努める。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>・松川町景観計画策定は、第3回景観計画策定委員会を開催。長野県との協議を行い、景観計画(案)、条例(案)、規則(案)、様式(案)協議を終了。松川町景観条例は9月議会にて議決。</p> <p>・屋外広告物パトロールを9月に実施。町内に違反広告物は該当無し。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>・10月に第4回景観計画策定委員会(最終)を開催し、これまでの経過内容と景観審議会への移行を説明する。</p> <p>・11月に松川町都市計画審議会を開催し、景観計画(案)、条例、規則を審議をお願いする。</p> <p>・令和3年1月1日付けにて、松川町が一部景観団体移行、4月1日付けより、松川町が景観団体完全移行に向けて段取りを行っていく。</p> <p>・屋外広告物は、常の道路等のパトロールと一緒に巡視を行い、適正化を図っていく。</p>	<p>B</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課		
目標4	標題	都市計画の推進		担当係	土木係	
総合計画の 位置付け	施策大綱	自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進			【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)	
	施策小項目	都市計画マスタープランの推進				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>・松川町総合計画[改定版]、飯伊圏域の都市計画、国土利用計画等と整合を図り、また最新の松川都市計画基礎調査を反映させた、松川町都市計画マスタープランを策定する。</p> <p>・現在の土地利用等を考慮し、都市計画道路網の変更を検討し、市街地内の良好な幹線道路網を形成する。</p> <p>・町道59号線(宮坂)について、都市計画道路整備計画にあわせて交差点改良工事を実施する。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>松川町都市計画マスタープランは6月に策定完了の予定であったが、大幅に遅れ8月末に策定となった。策定のみで公表はできていない。</p> <p>・災害対応のため都市計画道路網の見直しについては未着手である。</p> <p>・丸茂自動車(有)の移転が新型コロナウイルス感染症の影響により遅れているため、町道59号線(宮坂)については未着手である。</p>	<p>③進捗度評価</p> <p>C</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>松川町都市計画マスタープランはホームページ等で公表する必要がある。</p> <p>・都市計画道路網の見直しについては、今後の具体的な進め方を検討する必要がある。</p> <p>・町道59号線(宮坂)については、工事発注に向けて進める必要がある。</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)		
目標5	標題	農業用施設の長寿命化①	担当係	農地整備係			
総合計画の 位置付け	施策大綱	持続可能な農業の推進					
	施策小項目	農業基盤の整備					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>・老朽化する農業用水路に関して農業を維持継続できるよう、国庫補助事業である農地耕作条件改善事業、農村地域防災減災事業、農業用水路等長寿命化防災減災事業を利用して農業用インフラ施設の更新・整備を実施し、安心・安定した営農環境を目指す。</p> <p>・農業施設長寿命化計画の個別計画策定を進め、計画的更新、整備の効率化を目指します。</p>		①実施した取り組み(活動実績等)	<p>・農地耕作条件改善事業について今年度発注予定箇所は全て発注済み。</p> <p>県営農村防災減災事業古町地区については県に同行してJR東海と最終調整段階である。</p> <p>団体営農業用水路等長寿命化防災減災事業古町大井地区について次年度実施に向けた補助要望を行った。実施個所の年度別計画を立て県と協議を行った。</p> <p>・農業用水路の個別施設計画について実施個所に該当する水利組合に確認して水路網図を作成中。</p>	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
		②下半期の取り組み予定・課題等	<p>・農地耕作条件改善事業は、工期内に現場が終了するよう調整及び監督を適切に行う。また事業完了時に報告する国庫補助関係書類についても遅延なく提出する。</p> <p>長野県が実施する国道側橋梁の詳細測量設計委託について求められる資料について当町も共同で作業を行う。JRとの最終協議を進める。</p> <p>令和3年度要望箇所の実施準備を進める。</p> <p>・計画箇所の現地調査を行い今年度中に完成させる。</p>	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)	
目標6	標題	農業用施設の長寿命化②	担当係	農地整備係		
総合計画の位置付け	施策大綱	持続可能な農業の推進				
	施策小項目	農業基盤の整備				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>・新たに指定した防災重点ため池について、補助事業を活用してハザードマップの作成を行う。また補修等が必要な場合は県農地整備課と協議する。地域の農業の重要な施設となっているため池について、豊かな恵みを共有するとともに災害時の対応について地域が一体となって減災に取り組むよう事業を推進します。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>・農業用水路等長寿命化・防災減災事業として採択されたことから、新たに特定農業用ため池(防災重点ため池)に指定した部奈地区の4池について長土連へハザードマップ作成業務委託を発注済み。豪雨時、地震発生時の緊急点検実施体制について長野県より整備するよう通達があったため、池の平及び部奈地区の4池について連絡網を作成した。本年度7月豪雨時に実際に連絡網により緊急点検を実施し、長野県へ状況報告を行ったが円滑に情報伝達できた。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>・12月末までにハザードマップを作成して、町全体のハザードマップと関連性を持たせる予定。ハザードマップを作成した際は速やかにホームページなどで公表予定。</p>	<p>B</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	建設課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)		
目標7	標題	リニア中央新幹線整備への対応とまちづくり	担当係	リニア対策室			
総合計画の 位置付け	施策大綱	関係人口の構築					
	施策小項目	リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据えた環境整備					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①生東地区におけるリニア中央新幹線建設工事の発生土置き場候補地について、関わる住民、JR、県等と調整を図る中で結論に導き、新たな発生土の活用先を検討し、町全体のこととして取り組む。		① 実施した取り組み(活動実績等)	①丸ボッキ候補地について、地元生東区と調整し、区からの要望は取り下げ、新たに町が事業主体となり発生土を活用した圃場整備を行うことで、関係者、JR、県等と調整を進めている。	③ 進捗度評価	④ 実施した取り組み(活動実績等)	⑥ 達成度評価	⑦ 今後(次年度)の取り組み予定
			② 下半期の取り組み予定・課題等				

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	環境水道課		【評価基準】	
目標1	標題	生活環境の美化、保全	担当係	環境係		A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)	
総合計画の位置付け	施策大綱	自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進					
	施策小項目	不法投棄の撲滅・ごみゼロ運動					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>①各種団体が実施するごみゼロ運動及び年間を通じた環境整備美化活動への取り組み依頼と支援を行う。また、ポイ捨てしないことを町民に呼びかける。</p> <p>②環境調査員と連携した不法投棄の監視と速やかな処理を行うとともに、常習地区への看板設置等の対策を行う。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>①春のごみゼロ運動は新型コロナウイルス感染症対策により中止。秋の「きれいな信州美化キャンペーン」にあわせて互助会での美化活動を実施してもらった。新型コロナウイルス感染症対策に対する交付金を利用して、町内で環境美化活動を行った団体へ、新型コロナウイルス感染症対策に要した費用を助成する制度を策定した。10月7日現在、交付金支払件数1件。問い合わせが5件。ポイ捨て防止、新型コロナウイルス感染症対策に留意したごみの捨て方についてチャンネル・ユーや広報まつかわで広報活動を行った。</p> <p>②5月27日環境調査員会議を開催。1期(4~6月)2期(7~9月)の活動実績を順次提出してもらっている。調査員から通報があった箇所は現場でごみ回収を行った。要望で看板を11箇所、ダミー防犯カメラ1個を設置した。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>	
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>①ごみのポイ捨てについて、引き続き、広報まつかわやチャンネル・ユー等の媒体を有効活用し防止を呼びかける。葉っぱのない季節になったらドローンを利用した撮影が可能か等チャンネル・ユーと一緒に検討する。犬のフン対策について牛乳パックを使った対策を試す。新型コロナウイルス感染症対策の助成金について、多くの団体に利用してもらうよう引き続きPRする。</p> <p>②環境調査員会議(第2回)を開催する。不法投棄が深刻な場所はネットの設置を検討し進める。</p>	<p>B</p>	<p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>		

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	環境水道課		
目標2	標題	廃棄物の適正処理	担当係	環境係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進				【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)
	施策小項目	燃やすごみの共同処理・計画的なごみ収集、災害時の廃棄物処理計画の策定と推進				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①燃やすごみへの資源ごみ混入が減少するよう、排出状況に応じて適正な分別を広報する。 ②中部地域ブロック災害廃棄物処理計画策定モデル事業ワーキング会議に参画し、廃棄物処理計画策定を進める。		①実施した取り組み(活動実績等) ②下半期の取り組み予定・課題等	①稲葉クリーンセンターでのごみチェックに参加し、結果を広報まつかわに掲載。燃やすごみの減量化として取り組んできたフードリサイクル事業については、令和3年3月末で終了予定だが、現在業者と最終調整中。 ②災害廃棄物処理計画策定モデル事業ワーキング会議に2回参画し、課題を提出し計画策定を進めている。	③進捗度評価 ④実施した取り組み(活動実績等)	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑥達成度評価 ⑦今後(次年度)の取り組み予定 ⑧課題・特記事項等
		B				

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	環境水道課
担当係	環境係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標3	標題	地球温暖化対策		担当係	環境係	
総合計画の位置付け	施策大綱	自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進				
	施策小項目	自然エネルギーの活用とエコライフの普及啓発				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①住宅用太陽光発電・蓄電設備設置費補助について町民・事業者に広報し、施設設置を促進する。 ②第3期松川町役場地球温暖化防止実行計画を策定する。		①実施した取り組み(活動実績等) ②下半期の取り組み予定・課題等	①太陽光発電設備9件、蓄電設備5件、両方設置2件交付済。 ②各施設のエコリーダーに二酸化炭素排出量報告シートを提出してもらい結果をまとめた。	③進捗度評価 B	④実施した取り組み(活動実績等) ⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑥達成度評価 ⑦今後(次年度)の取り組み予定 ⑧課題・特記事項等
			⑦今後(次年度)の取り組み予定 ⑧課題・特記事項等			

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	環境水道課
担当係	水道工務係・水道管理係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標4	標題	水道水の供給		担当係	水道工務係・水道管理係		
総合計画の位置付け	施策大綱	安全安心な水の供給					
	施策小項目	水道施設・設備の維持管理・更新と水質管理、利便性の高い行政手続きの推進、災害時の水の確保					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①宮ヶ瀬橋架替事業の進捗に合わせて、送水管の添架、布設替工事を計画的に進める。(R3.3月) ②老朽管布設替工事を計画的に進める。(大島地区2箇所) ③三林水道施設(送水ポンプ/配水池水位計)を更新する。 ④新たに水道系設計積算システムを導入し、より精度の高い設計を行う。(4月) ⑤訪問や給水停止措置等の未納者対応及びコンビニ収納により、徴収率の向上を図る。 ⑥天竜川水系(上流)ダム管理連絡調整協議会に、近年の水害激甚化を踏まえた「治水協定」の締結に向けて、利水者として参画する。		①実施した取り組み(活動実績等) ①宮ヶ瀬橋架梁工事の遅れにより、10月より水管橋添架に着手する。関連工事として町道22号線配水管布設替工事を発注した。 ②予定外の工事(諏訪形消火栓移設工事)を優先し、発注できていない。 ③計画通り更新を進め、10月末には竣工予定。 ④5月に設計積算システムを構築し、システムを利用した設計を開始した。 ⑤未納者に対して、通知・訪問・電話連絡・給水停止措置を行った。4月からコンビニ納付に対応した納付書の発行を行った。発行した納付書のうち5割から6割はコンビニで利用されている。 ⑥天竜川水系(上流)ダム管理連絡調整協議会に参画し、「天竜川水系(上流)治水協定」を締結した。	③進捗度評価 B	④実施した取り組み(活動実績等) ⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定 ⑧課題・特記事項等	
		②下半期の取り組み予定・課題等 ①県事業の進捗状況により適切に発注を行う。 ②計画している管路工事を発注し、年度内に竣工する。 ③10月末には竣工予定。 ④引き続き、精度の高い設計を行う。 ⑤引き続き未納者に対して、訪問や給水停止措置を行う。 ⑥事前放流の際は、関係機関と連携して情報共有を図る。					

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課 環境水道課

目標5	標題	下水道施設の維持管理	担当係	下水道係
総合計画の 位置付け	施策大綱	安全安心な水の供給		
	施策小項目	農業集落排水と公共下水道の処理区統合、下水道事業業務継続計画の策定と推進		

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取
 り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実
 施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実
 施できていない)

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①農業集落排水と公共下水道の処理区統合にむけた下水道全体計画の見直しを行う。(12月) ②宮ヶ瀬橋架替に伴う県道拡幅に合わせ汚水管布設替を行う。(県事業進捗による) ③事業の会計方式変更に伴う経営戦略の改訂を実施する。(12月) ④業務継続計画(BCP)の内容点検と計画に基づく訓練を実施する。(9月) ⑤長期停電時にも業務を継続させるため、非常用発電機を購入する。(9月)	①実施した取り組み(活動実績等)	①支援業務をコンサルへ発注(7月)し、全体計画見直し作業を進めている。 ②県事業の進捗により未着手。 ③支援業務をコンサルへ発注(8月)し、経営戦略改訂作業を進めている。 ④BCP内容点検について、9月中旬の国マニュアル改訂版公表を受け、作業に着手した。訓練については、町防災訓練にあわせ、委託業者と合同で実施した。 ⑤非常用発電機購入済み(6月)。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	①年度内の業務完了に向けて作業を進める。 ②県事業の進捗により業務を進める。 ③年度内の業務完了に向けて作業を進める。 ④10月末完了を目安に作業を進める。 ⑤非常時に備え、適切に点検管理を行う。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	こども課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)	
目標1	標題	子育ての不安を解消できる環境づくり	担当係	こども係		
総合計画の位置付け	施策大綱	子どもの育ちの切れ目ない支援				
	施策小項目	地域と連携した子育てネットワークづくり				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
<p>①地域子育て支援拠点事業(子育て支援センターおひさま)の運営 ・企画事業、各種サークル、子育て講演会等の企画運営を行い、親子にふれあいの場を提供するとともに、妊娠期からの相談支援体制を充実させ、育児に対する不安感や負担感の軽減を図る。 ・保健福祉課と連携した乳幼児健診や個別相談により、支援に必要な児童の早期発見と早期支援につなげ、療育あそびの教室を実施する。</p> <p>②児童虐待防止対策の充実 ・被害にあった子どもの保護やケアに努め、早期発見・早期対応を行うため、関係機関と連携した要保護児童対策地域協議会運営を行う。(虐待相談、学校・家庭支援、関係会議)</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策を行い、企画事業、サークル活動を実施した。相談環境の整備を行い気軽に相談できる環境に努めている。企画事業1回(20名)、サークル活動5回(128名) ②早期発見早期対応となるよう、保育園学校等と連絡を密にし対応してきた。個別訪問やケース会議を随時行い遅れることが無いように進めている。6月、9月の協議会開催実施済。遊びの教室を計画日程により実施している。(参加者19組)</p>	③ 進捗度 評価	④ 実施した取り組み(活動実績等)	⑥ 達成度 評価	⑦ 今後(次年度)の取り組み予定
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら年間計画の基づき事業の実施を進める。乳幼児健診時などに相談対応を進める。 ②12月、2月の協議会開催を計画し進める。 共通:子育て世代包括支援センター設置に向け関係課と連携し準備調整を行う。</p>	B	⑤ 取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧ 課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	こども課		
目標2	標題	豊かな保育の提供	担当係	保育園係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	子どもの育ちの切れ目ない支援				
	施策小項目	各園の特徴・資源を生かした保育園づくり				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)	次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>①保育サービスの充実 ・保護者の就労形態の多様化に対応し、保護者が安心して預けられ、育児に対する負担感を軽減するための保育サービスを提供する。</p> <p>②各園の特徴・資源を生かした保育園づくり ・立地条件や、地域の団体との交流など、園の特徴を生かした運営を行い、地域に根差した地域性のある保育園づくりを行う。</p>		①実施した取り組み(活動実績等)	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
		②下半期の取り組み予定・課題等	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等
		<p>①途中入園希望者の入園調整やそれに伴う職員配置の検討をするため、全園の3歳以上児担任と面談を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症関連の補助金を活用し、園児を安全に受け入れられるよう対策を進めてきた。</p> <p>②地域の方にご協力いただき、田植え前の田んぼでのどろんこ体験や、年長児の田植え・稲刈り体験など、それぞれの園で人脈を生かした活動を行った。</p>				
		<p>①来年度の入園説明会を実施し、希望調整を行う。</p> <p>②特色や資源をさらに生かした取り組みの検討を行う。</p>				

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	こども課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)	
目標3	標題	健やかな子どもの育ちを支える環境づくり	担当係	学校教育係・保育園係		
総合計画の 位置付け	施策大綱	子どもの育ちの切れ目ない支援				
	施策小項目	各園の特徴・資源を生かした保育園づくり				
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
①保育園と小学校の「学び」と「発達」の接続 ・小学校への円滑な接続のために、保小連絡会・意見交換会を行い、幼児・児童の発達について相互理解を図る。 ・幼児・児童・生徒の適正な就学、教育支援、特別支援教育の充実を図るため、児童生徒就学相談委員会の運営を行う。 ②準要保護児童生徒就学支援 ③障がい児施策の充実 ・児童生徒が個々に応じた教育・保育を受けられるように、加配保育士、教育支援員の配置を行い支援を行う。		①実施した取り組み(活動実績等) ①就学に向けた調整を保育園学校と連携し進める。保育園の職員が、本年度入学した児童の様子を参観し、学校との引継や支援方法の検討を行った。 新型コロナウイルス感染症の関係で意見交換会は中止しましたが、保小連絡会において来年度入学する児童についての情報交換を行っている。 ②就学支援について申請認定事務を速やかに行い、家庭負担軽減に努めてきた。 準要保護児童生徒就学援助費は小学校79人(総額4,387,550円)、中学校52人(総額5,147,885円)、特別支援教育就学奨励費は小学校25人(総額664,175円)、中学校16人(総額825,444円)を決定し、それぞれ1期分を支給した。 ③随時情報共有を行い、個々にあわせた対応を進めてきた。	③ 進捗度 評価	④ 実施した取り組み(活動実績等)	⑥ 達成度 評価	⑦ 今後(次年度)の取り組み予定
		②下半期の取り組み予定・課題等 ①保育園から中学校まで一貫した体制環境の検討を進める(教育懇談会) ②準要保護児童生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費の第2、3期の支払いを行う。 ③次年度に向け支援体制の検討を行う。個々に応じた対応検討を行い、安心して過ごせる環境整備を検討する。	B	⑤ 取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧ 課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	こども課			
目標4	標題	学校教育の推進と学習環境の整備	担当係	学校教育係	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)		
総合計画の 位置付け	施策大綱	探求的・主体的な学び					
	施策小項目	基礎学力をつけるための少人数学習や補充的な学習サポート、教科の学習目標を達成するためのICT活用					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>①算数・英語教育支援員を配置し少人数学習や補充的な学習のサポート・児童生徒が、主体的に考える力やコミュニケーション能力などを高めるため、少人数学習による基礎学力獲得のためのサポートを行う。</p> <p>②小中学校のICT環境整備 ・情報化社会に対応した教育のため、学習環境整備を進める。(校内LAN等整備、児童生徒にタブレット端末一人一台整備事業)</p> <p>③安心して学べる環境施設整備 ・松川町学校施設等長寿命化計画に基づく年度整備計画を毎年度見直し、実施に向けた調整を進める。(令和3年度トイレ改修事業)</p>		①実施した取り組み(活動実績等)	<p>①学習支援のための機器整備や、教育支援員への教材支援を進めてきた。</p> <p>②補助事業を活用したGIGAスクール構想実現のため、環境整備を進めている。LAN工事の詳細設計委託9月発注済、タブレット端末購入等事業10月発注予定。</p> <p>③令和3年度着手のトイレ改修詳細設計業務委託を発注し、各学校と連携し調整を行っている。</p>	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
		②下半期の取り組み予定・課題等	<p>①教職員補助となるスクールサポートスタッフの配置計画について検討を行う。</p> <p>②有効活用できるよう教職員への指導支援を計画する。児童生徒が安心して利用できるセキュリティ対策を検討する。</p> <p>③令和3年度以降の整備計画を検討し、予算計上を計画する。(体育館LED、校内LED化)</p>	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

			担当課	こども課	【評価基準】 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取 り組みも実施できた(実施できている) B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実 施できている) C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実 施できていない)			
目標5	標題	児童の健全育成のための居場所づくり	担当係	学校教育係				
総合計画の 位置付け	施策大綱	地域とともに育てる学校づくり						
	施策小項目	地域と学校の相互交流						
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)		
①児童館(放課後児童クラブ)運営 ・登録児童数の増加により、安心して 保育できるこどもの居場所として、運 営計画の検討を行う。 ②放課後子ども教室運営 ・児童館と一体となった体験交流を行 い、安心できる居場所環境に取り組 む。		①実施した取り組み (活動実績等)	①新型コロナウイルス感染症対応により4月から8 月(夏休み前まで)の期間、5,6年生受け入れ制限 による運営を行えた。環境整備(暑さ対策等)に向 けた検討を進め、実施に向け調整してきた。 ②安心安全利用に向け、定期的に児童館職員と協 議を行い運営を進めてきている。	③ 進捗度 評価	④ 実施した取り組み (活動実績等)	689	⑥ 達成度 評価	⑦ 今後(次年度)の取 り組み予定
		②下半期の取 り組み予定・課 題等	①来年度の運営方針を検討する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び児童 館の利用人数増加による過密状態の解消に向け、 保護者に対し利用希望アンケートを実施する。 ②引き続き、安心安全利用に向け、定期的に児童 館職員と協議を行い運営を進める。 ICTを利用した体験活動として、タブレット体験教室 を実施する。 ・中央小放課後子ども教室10月実施予定。 ・北小放課後子ども教室11月実施予定。(上片桐児 童館合同)	B	⑤取 り組みによる 理由等・実 施できなかつ		⑧課 題・特 記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	生涯学習課
-----	-------

目標1	標題	社会教育及び公民館活動の推進	担当係	生涯学習・男女共同参画係
総合計画の位置付け	施策大綱	学びが循環する社会づくり		
	施策小項目	公民館を拠点とした社会教育の充実		

【評価基準】
 A: 業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B: 業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C: 業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、住民に寄り添った公民館活動の推進をする。 ・各公民館活動を支援する。 ・サマーチャレンジまつかわを開講し、めあてをもって学習する力をつける。 ・まつかわ大学15期を開講する。 ・2020オリパラホストタウン事業は各メディアを利用した活動を推進する。	①実施した取り組み(活動実績等)	③進捗度評価 ④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定	
	②下半期の取り組み予定・課題等	B ⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	生涯学習課
-----	-------

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標2	標題	町民1スポーツの推進	担当係	生涯学習・男女共同参画係
総合計画の位置付け	施策大綱	学びが循環する社会づくり		
	施策小項目	公民館を拠点とした社会教育の充実		

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)			3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)
スポーツ活動の充実 ・名子原体育館の照明LED化工事を3月までに完了する。 ・スポーツ推進員、公民館体育部員と連携し、町民のスポーツを推進する。 ・各公民館活動を支援する。	①実施した取り組み(活動実績等)	・名子原体育館の照明LED化に合わせて、福与体育館もLED化にするよう事業変更を行い10月入札に向けて準備を進めた。工事に伴う利用者への施設予約について調整を図った。 ・スポーツ推進員の活動(活き生きウォーキング)は予定通り実施、体育部員の活動は新型コロナウイルス感染症のためニュースポーツ体験会と駅伝大会が中止となった。 ・地区公民館の活動が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているが、小学生を対象にニュースポーツ体験会を開催し、地区公民館でもニュースポーツが行われるということで、参加を呼びかけた。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	・12月までに名子原体育館、福与体育館の照明LED化を進める。 ・スポーツ推進員、体育部の活動を引き続き進める。来年度の計画についてウイズコロナという視点から何ができるか検討していく。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	生涯学習課
担当係	文教施設係

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標3	標題	図書館の充実
総合計画の位置付け	施策大綱	学びが循環する社会づくり
	施策小項目	利用者の思いや学びに寄り添った図書館資料の充実

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
図書館機能の充実 ・図書の貸出10万冊を維持する。 ・新型コロナウイルス感染症蔓延で在宅期間が長くなるなか利用者が求める図書を充実させる。	①実施した取り組み(活動実績等)	・9月末日現在の貸出し冊数は51,427冊。新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館したときには、一人30冊まで借りられるよう拡大して対応した。 ・図書部員との図書の買い出しを行った。 ・書棚の増設や配置換え、購入や除籍による資料の入れ替えを行った。 ・5月より開始予定だった行事は、新型コロナウイルス感染症の予防をしながら7月より順次再開した。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	・子供たちがテーブルを囲んで密が避けられないイベントを除いて、新型コロナウイルス感染症のリスクを勘案したイベントの推進を行う。 ・受験シーズンに向け、学習室の時間制限撤廃を行い、利用者のニーズにこたえる。 ・10月に行う読書旬間で除籍本の譲渡を行う。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	生涯学習課
-----	-------

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

目標4	標題	ふるさと学習の充実	担当係	文教施設係
総合計画の位置付け	施策大綱	学びが循環する社会づくり		
	施策小項目	歴史に学ぶ地域づくりと魅力ある資料館運営		

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
・令和元年度に刊行した副読本「ふるさと松川町」を活用した学習会を行う。	①実施した取り組み(活動実績等)	・副読本活用講座は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、学習会をやめ、チャンネル・ユーの放送として4回行った。 ・特別展示を1回、階段展示を2回行った。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	・公民館事業と共同して行う「昔の暮らし」講座が開催できていない。副読本を活用した講座と合併した講座を企画し開催する。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等	⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課	生涯学習課
-----	-------

目標5	標題	男女共同参画の推進	担当係	生涯学習・男女共同参画係
総合計画の 位置付け	施策大綱	男女共同参画の推進		
	施策小項目	自治組織、審議会への女性参画の推進		

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
・男女共同参画地区推進員との連携により自治会への出前講座開催する。 ・審議会の立案時に女性が参画できる組織作りを促す。 ・男と女いきいき講座を開催する。	①実施した取り組み(活動実績等)	男女共同参画推進委員会、プラン推進会議、地区推進員会議を開催し、昨年度策定した第5次松川町男女共同参画計画について説明をした。地区推進員と共同で行う出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響のため開催できていない。男と女いきいき講座、暮らしの知識を学ぶ講座について計画をした。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定	
	②下半期の取り組み予定・課題等	10月に暮らしの知識を学ぶ講座、1月に男と女いきいき講座を開催する予定。地区推進員との出前講座については新型コロナウイルス感染症防止の観点から本年度の開催が難しい(自治会との調整)	C	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等	

令和 2 年度 組織目標進捗状況

		担当課	議会事務局			
目標1	標題	議会運営の推進と近隣町村議会との連携	担当係	議会		
総合計画の 位置付け	施策大綱					
	施策小項目					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)	次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>①新型コロナウイルス感染症防止における松川町議会としての対応や対策を講じるための支援を行う。</p> <p>②政策立案・提言や行政監視など、議会としての組織機能向上を図るため、先進事例などの調査や資料収集等を随時実施し、知見の充実を図るなかで議会の取組を支援する。</p> <p>③広報編集技術の向上や内容が伝わりやすく質の高い議会だよりの発行を支援する。</p> <p>④近隣町村等との課題情報の共有や課題の検討等において連携を図り、議会運営の支援にあたる。</p>		<p>①実施した取り組み(活動実績等)</p> <p>①会議前に於いて、体調や検温の確認書を提出いただき、注意地域への移動や接触があった場合は、会議の出席を見合わせ経過観察を行っている。手指消毒の実施やマスクの着用、会議中の換気を実施している。</p> <p>②議会による町への政策提言書の提出補助を実施。所管事務調査など、議員会議等で交わされた意見、内容等の集約や文書の作成など事務補助を行っている。</p> <p>③議会だよりの構成・内容等を広報広聴常任委員会の広報部を中心とした検討や作成における事務補助と印刷業者との連絡調整を行う等、発行の支援をしている。</p> <p>④北部ブロック県提言の町村間調整を実施。</p>	<p>③進捗度評価</p>	<p>④実施した取り組み(活動実績等)</p>	<p>⑥達成度評価</p>	<p>⑦今後(次年度)の取り組み予定</p>
		<p>②下半期の取り組み予定・課題等</p> <p>議会議員の改選に伴い、新たな議会構成等の段取りや事務的処理を進める。</p>	<p>B</p> <p>⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等</p>	<p>⑧課題・特記事項等</p>		

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

令和 2 年度 組織目標進捗状況

担当課 議会事務局

目標2	標題	財務や事業における監査の実施	担当係	監査
総合計画の位置付け	施策大綱			
	施策小項目			

【評価基準】
 A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取り組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)

具体的内容	9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)		次年度に向けた取り組み(引継事項)	
①町の事務事業を合规性、経済性、効率性等の観点から定期監査、決算審査、行政監査等の監査を計画的に実施する。 ②監査委員の指示により、会計書類の点検、財務や行政運営に関する各監査資料の収集などを適切に行う。 ③住民監査請求等の申請による審査及び監査を、期限内に査定するための段取り及び資料収集等を行う。	①実施した取り組み(活動実績等)	①②年間監査計画に基づき、毎月末は現金監査を行い、毎月中旬に一般会計・上下水道会計・清流苑会計の例月出納検査を計画実施している。7月に令和元年度下半期定期監査を実施し、監査資料の収集や各課における会計書類の提出及び状況説明の取りまとめを行い、講評のまとめなど事務的補助を実施した。 決算審査では、決算表の見直しを実施し、決算審査意見書の書類作成等の事務補助を行った。決算審査意見書は議会の議決を得た。 随時監査として、工事監査を本年度も外部の技術専門家の協力のもと実施予定である。	③進捗度評価	④実施した取り組み(活動実績等)	⑥達成度評価	⑦今後(次年度)の取り組み予定
	②下半期の取り組み予定・課題等	財政援助団体への補助金監査を10月に予定している。令和2年度上半期定期監査及び、工事監査を計画的に実施していく。	B	⑤取り組みによる効果・実施できなかった理由等		⑧課題・特記事項等

令和 2 年度 組織目標進捗状況

令和 2 年度 組織目標進捗状況			担当課	議会事務局		
目標3	標題	明るい選挙の推進と適正な選挙事務	担当係	選挙		
総合計画の 位置付け	施策大綱					
	施策小項目					
具体的内容		9月末時点の実施状況(中間評価)		3月末時点の達成状況(年度末評価)	次年度に向けた取り組み(引継事項)	
<p>①今年度執行される松川町議会議員選挙を法令に基づき、公正・公平・中立な選挙事務を確保し、適正且つ円滑な選挙の管理執行を図る。</p> <p>②明るい選挙推進協議会と連携を図り、投票への参加ときれいな選挙の実現や18歳以上の投票について、広報活動を行う。</p>		<p>①松川町議会議員一般選挙の選挙事務について、誤り等が許されない業務の中で、法令に基づき、適正かつ円滑に実施している。</p> <p>②明るい選挙推進協議会を開催し、広報活動の取組みを支援していく。18歳からの投票啓発について、チラシの配布を実施。</p>	③ 進捗度 評価	④ 実施した 取り組み (活動実績等)	⑥ 達成度 評価	⑦ 今後(次年度)の 取り組み予定
②下半期の取り組み予定・課題等		11月15日執行の松川町議会議員一般選挙の選挙事務を推進する。	B	⑤ 取り組みによる 効果・実施できな かった理由等		⑧ 課題・特記事項等

【評価基準】

A:業務処理を予定どおりに実施しつつ、更なる取組みも実施できた(実施できている)
 B:業務処理を(概ね)予定どおりに実施できた(実施できている)
 C:業務処理を予定どおりに実施できなかった(実施できていない)